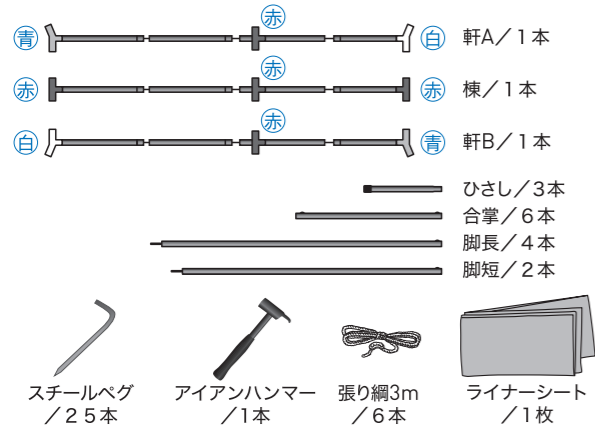


オーナーロッジ タイプ78R T/C / 組み立て方法

■ この取扱説明書では、一部の画像を「タイプ78R」を使用して説明しております。仕様に違いがありますが建て方は同じです。

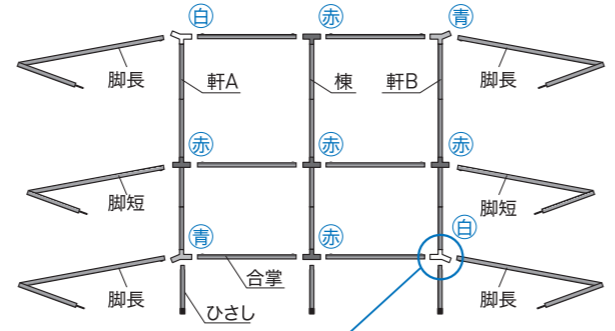
1. パーツを確認します



幕体と上記のパーツがセットされているか確認します。

Check Point 棟、軒のフレームは、ジョイント(プラスチック製)の色で区別してください。

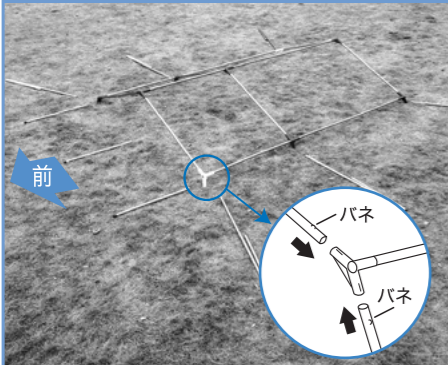
2. 整地およびフレームを配置します



Check Point 前面シール
軒、棟のフレームの前後はフレームに付いている【前面】シールの表示を確認してください。

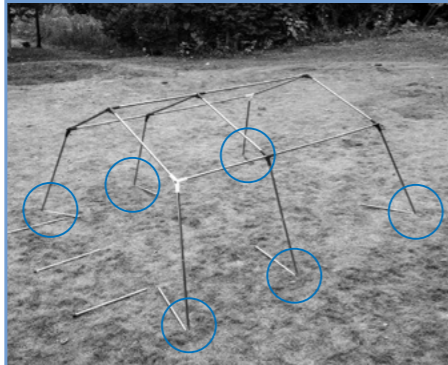
平らな場所を選び整地します。次にフレームを地面に配置します。この時、軒A、軒Bと棟はそれぞれ接続部をつなぎ、前後を間違えないようにして、下記のように配置してください。

3. 屋根部を組み立てます



まず、屋根部を組み立てます。軒A、棟、軒Bをそれぞれ合掌でつないでいきます。合掌に付いているパネをジョイントの穴にしっかりと差し込みカチッと音がするまで回してください。

4. 脚部を組み立てます



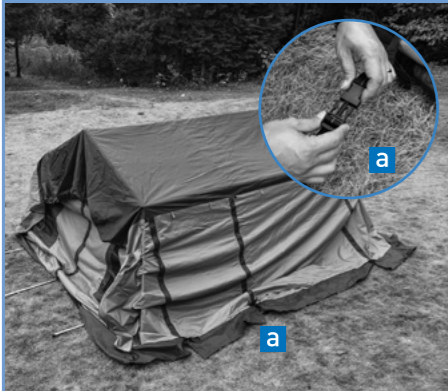
次に、脚を片側から順にジョイントにしっかりと差し込みます。この時、幕体をかぶせやすいように脚の一番下の一節を折り曲げたままにします(○)。

5. ライナーシートを取り付けます



棟(屋根の中央)フレームから先にライナーシートを取り付けていきます(ライナーシートにスリットが入っている方が前室側となります)。プラスチック製のジョイントの穴にSフックを固定します。

6. 幕をかぶせます



a 幕の前後を確認し、幕をかぶせます。この時、真ん中のスタンディングテーブルのバックルを外しておきます。

7. ひさし用ポールを取り付けます



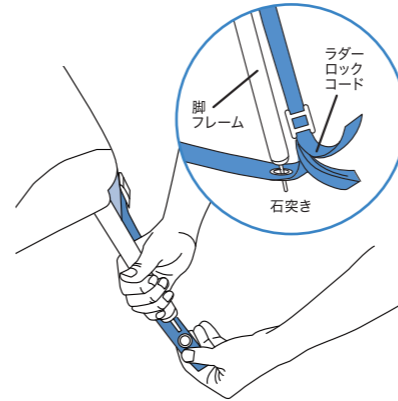
正面出入口上部のひさし用のポールを3カ所に取り付け、外幕をかぶせてマジックテープで固定します。

8. テントを立ち上げます



全ての幕の角がフレームの角と合うよう整えてから、折り曲げておいた脚フレームのジョイントを片側から順につなぎ、テントを立ち上げます。

9. 幕とフレームを接続します



幕の裾部6カ所に付いているハトメに、脚フレーム先端の石突きを差し込み、ラダーロックコードを締めます。

10. 幕をフレームに固定します



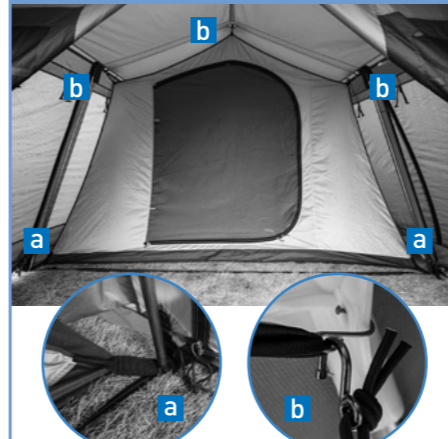
幕の中に入り、外したスタンディングテーブルのバックルを接続します。四隅のポールに幕体についているマジックテープを巻きつけます。
スタンディングテーブルは外して収納することができます。撤収の際には付け直してください。

11. 幕体の裾を固定します



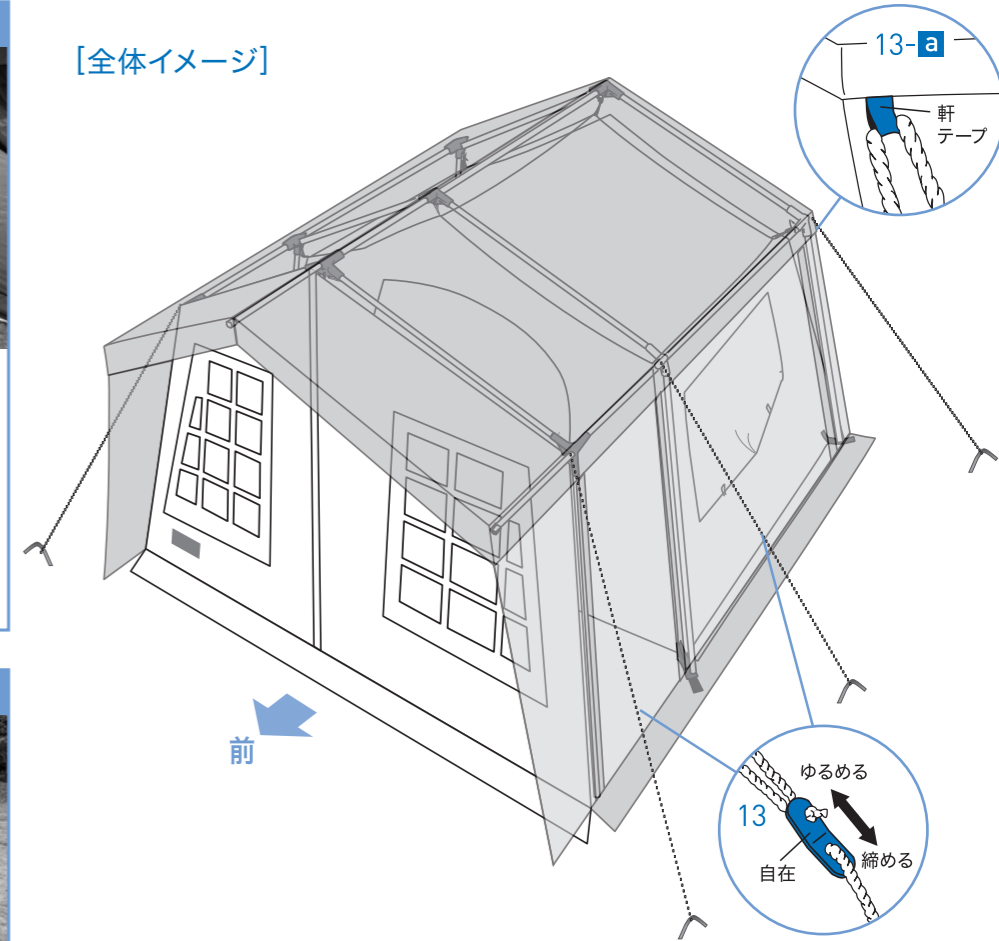
a ファスナーを全て閉じ、脚フレームを引っ張ってたるみが出ないように形を整え、フレーム裾のテープを全てベグで固定してください。
b 入り口両サイドもベグで固定します。

12. インナーを取り付けます



a インナーの前後を確認して広げ、インナー裾はフレーム裾のハトメに差し込みます。**b** 上部のフックは、奥側から順にライナーシートの金具の根元にかけます。

[全体イメージ]



13. テントを補強します



a 幕体軒部6カ所の軒テープに張り綱を通します。
b 端をベグで固定して、自在で張り具合を調節して完成です。

⚠ CAUTION!

△ 設営・撤収時のご注意

テントは完全に設営が完了した状態で強度設計されています。テントの破損は、設営時・撤収時に多く発生します。風が強く吹いている際は設営・撤収は見合わせ、風が収まってから作業を行ってください。

△ 強風時のご注意

強風に備えて、各部のフック・バックル・張り綱はしっかり固定してください。また、テントが大きく歪んでしまうような強風時には、速やかにテントを撤収してください。

※ 幕体をかぶせる時は、風上に向かって風をはらませるようにすると楽にかけられます。